

2009年度事業報告書

2009年4月1日から2010年3月31日まで



活動報告

1. 奨学金事業

実施国：タイ、ラオス、カンボジア

目的：タイ（中学1～3年生及び一部高校生）、ラオス（小学3～5年生及び一部中学生）、カンボジア（小学4～6年生）の貧困家庭の子どもたちに対して奨学金支援を行い、万人に基礎教育の機会を与えることを目的とする。

実績： タイ奨学生 : 8,284名

ラオス奨学生 : 7,040名

カンボジア奨学生 : 1,288名

ニュースレター 季刊「ダルニー通信」 発行部数 12,000部×4回

受益者：支援生徒数 16,612名



2. ラオス校舎建設事業

実施国：ラオス

目的：校舎の量的不足、質的劣悪が指摘されているラオスにて校舎を建設し、より多くの子どもたちが安心して質の高い教育を受けられるように環境を整備する。



実績：①サワンナケート県ブンタルーン村、6部屋 タイプ1棟（5教室+教員室等）

2008年10月着工 2009年4月完成

②カムアン県ポンスン村、6部屋タイプ1棟（5教室+教員室等）

2008年11月 着工 2009年4月完成

③カムアン県カムハエ村、6部屋タイプ1棟（5教室+教員室等）

2008年11月着工 2009年4月完成

④カムアン県KM7村、6部屋タイプ1棟（5教室+教員室等）

2009年4月着工、2009年11月

⑤カムアン県ハドシェンジー村、6部屋タイプ1棟（5教室+教員室等）

2009年4月着工、2009年12月

受益者：対象校生徒約1,000人、教員約30人、村人多数

3. 図書事業

実施国：ラオス

目的：教科書以外の本を購入する手立てのないラオスの子どもたちの学校に図書を寄贈することにより、子どもたちの想像力や思考力及び国語能力の向上を図る。

実績：4県（カムアン、サワナーケット、サーラワン、セーコーン）の40校に寄贈

受益者：40校の生徒約7,500人



4. ブーンライ保健衛生事業

実施国：ラオス

目的：病気や怪我をしても病院に通えない子どもたちが大勢いるラオスの学校に医療チームを派遣して年1回の健康診断を実施する。また、緊急治療が必要な生徒には治療費を補助する。

実績：カムアン県の完全校4校、不完全校7校の計11校及びセーコーン県の完全校5校で実施。

受益者：生徒数2,693名（ラオカ155、ノンホイ141、クアンパン187、ラマラ249、ポンセイ20、ポンディ41、シビレイ21、ポンサアット24、ヴァンフアパ42、クアンパンナイ189、コック42、パクトン220、イアマイ436、ホーサー483、カンドン246、ヨクトン197）



5. ラオス高校教師修士留学事業

実施国：ラオス

目的：教育の質の向上を専門に担う人材をタイ・コーンケン大学修士留学させ、将来的には、教師用指導要領の作成ならびにその有効活用を以って、ラオス全土での均一化された国際水準の教育の実現を図る。

実績：現在、タイ・コーンケン大学に留学中の教師は11名

[内訳]3期生：2007年入学1名、4期生：2008年入学5名、5期生：2009年入学5名

受益者：修士課程修了後、ラオスの教育界の指導者となるため受益者は多数



6. ラオス少数民族教師養成事業

実施国：ラオス

目的：少数民族の教師志望の学生に対し、奨学金を支給することによって、小中学校の教師の育成を促し、ラオスの基礎教育の質の向上を図る。

実績：サワンナケート県サワンナケート教師養成短期大学「小学校教師養成コース」及び「中学校教師養成コース」、並びにチャンパサック県パクセ教師養成短期大学「小学校教師養成コース」及び「中学校教師養成コース奨学生」にて1年間履修

受益者：小学校コース4名、中学校コース32名



7. 星野プロジェクト

実施国：ラオス

目的：ラオスの高校理数科教員の再教育

実績：サワンナケート県にてワークショップ開催（7/23～29）

講師：9名、研修生（教師）44名

受益者：44人の教師は22高校から参加したため高校生多数。

8. そろばん事業（EDF-LAO 実施）

実施国：ラオス

目的：ラオスの小学校教育にそろばんを導入することにより、児童の算数能力の向上をはかり、貧困削減の一助にする。

実績：ビエンチャンの15校及びカムアン県の5校にて教師研修（60名参加）

また、ビエンチャンにてそろばん大会を開催（NHK放送文化基金助成事業、模様は日本国内でも放映）

受益者：ビエンチャン及びカムアンでの模擬授業に1,523名の児童参加。

そろばん大会にはビエンチャン市内の10校から児童90名、教師20名が参加。

9. OSOP 事業（ONE SCHOOL ONE PROJECT= 1 校 1 事業）

実施国：タイ、ラオス

目的：タイの中学校及びラオスの小学校で、生徒たちが地域の資源の活用や伝統的な技術を学び、かつ収益や生産物を食材に給食を実施して生徒の健康増進を図る。

実績：タイ 21 校（チャイヤプーム県 3 校、ブリーラム県 3 校、カーラシン県 1 校、マハサラーム県 3 校、ナコーンパノム県 1 校、ナコンラーチャシーマー県 2 校、シーサケット県 2 校、ウボンラーチャターニー県 2 校、ヤソートン県 3 校、ノンカーイ県 1 校）
ラオス 8 校（カムアン県）

受益者：実施校生徒数約 10,100 名（タイ約 7,000 名、ラオス約 3,100 名）



10. 研修旅行

実施国：タイ、ラオス、カンボジア

目的：支援者が奨学金や学校建設などの支援をしている地域を訪問し、その現状を理解するとともに村泊などを通して相互交流を図る。

実績：●定期研修旅行

10 月ラオス 参加者 15 名 訪問県：サワンナケート県

11 月タイ 参加者 11 名 訪問県：ヤソートン県

3 月カンボジア 参加者 3 名 訪問県：コンポンチュナン県

●委託旅行

9 月ラオス 参加者：23 名 訪問県：カムアン県

●個人旅行 4 名

受益者：日本人参加者 56 名、訪問県では生徒及び村人等多数

1 1. 国内活動支援事業

①ドナー連絡会活性化事業

実施国：日本

目的：全国にある地域連絡会の連携を深め、ダルニー奨学金の普及を図る。

実績：10月31日～11月1日「全国ドナー連絡会会議」（於：新潟市）

受益者：全国の5ドナー連絡会及び新潟市民（約40名参加）

②NGO相談員（外務省委託「NGO活動環境整備支援事業」）

実施国：日本

目的：国際協力の広報啓蒙活動及びNGOの情報共有やレベルアップ

実績：相談員（2名）による通常の相談業務及び出張サービスを実施。

受益者：通常相談550件、出張サービスでの講演（4回：山梨、長野、東京都内）参加者約440人及び相談対応（1回：大阪ワンワールドフェスティバル）10件

1 2. 調査研究事業

調査「奨学金の現状調査と課題」

実施国：タイ

目的：奨学金制度の現状把握のための調査、課題の洗い出し

実績：バンコク、チェンマイにて調査

受益者：奨学生数約100名、今後の支援計画100名×6年間